

平成30年度 事業報告書

平成30年4月 1日から
平成31年3月31日まで

公益財団法人 道央産業振興財団

I 事業の実施状況

【公益目的事業】

公1 技術振興事業

1. 技術者等育成事業

(1) 技術研修事業

地域企業のものづくり基盤技術の高度化に資する人材を育成するため、製造・加工・解析等の基盤技術の習得に必要なセミナーを実施し、延べ106名が受講した。

a) 技能・技術育成研修

種類	研修名称等	実施日	実施場所	受講者数 (延べ)
技能 検 定 対 策	旋盤加工Ⅰ 普通旋盤作業1・2級	30.5.11・18	北海道ホリテカレッジ	1名
	旋盤加工Ⅱ 普通旋盤作業1・2級	30.6.8・15	北海道ホリテカレッジ	2名
	マシニングセンタ作業1・2級	30.6.16～17	北海道ホリテカレッジ	1名
	電気系保全作業1・2級	30.10.16～17	苫小牧市テクノセンター	1名
	機械系保全作業1・2級	30.11.8～9	苫小牧市テクノセンター	3名
	生産現場の計測器管理実践	30.11.8～9	苫小牧市テクノセンター	1名
	機械保全特級	30.12.6～7	北海道ホリテカレッジ	2名
機 械 ・ 溶 接 ・ 旋 盤	精密測定技術（長さ測定編）	30.4.24～25	北海道ホリテカレッジ	1名
	実践旋盤加工技術（加工精度編）	30.5.29～31	北海道ホリテカレッジ	1名
	被覆アーク溶接技能クリニック（鋼構造物及び圧力容器編）	30.6.14～15	ホリテセンター北海道	1名
	生産現場で使う品質管理技法	30.6.21～22	苫小牧市テクノセンター	10名
	溶接技能クリニック	30.6.28～29	ホリテセンター北海道	4名
	実践機械製図（基礎製図コース）	30.7.5～6	苫小牧市テクノセンター	7名
	機械加工技術（旋盤）	30.7.10～11	北海道ホリテカレッジ	3名

機 械 ・ 溶 接 ・ 旋 盤	実践機械製図（2次元CAD編）	30. 7.19～20	苫小牧市テクノセンター	8名
	機械加工技術プライス編	30. 7.24～25	北海道ホ°リテクカレッジ	3名
	製品設計のための3次元CAD技術	30. 7.24～25	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	実践機械要素保全	30. 7.31～8.1	北海道ホ°リテクカレッジ	4名
	有限要素法の理論と実践（材料力学から有限要素法への展開）	30. 9. 1・15	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	実践機械製図技術（2次元編）	30.9.4・5・20・21	ホ°リテクセンター北海道	1名
	機械保全実践技術（伝道装置・分解組立調整編）	30. 9.19～20	北海道ホ°リテクカレッジ	2名
	精密測定技術（長さ測定編）	30.10.10～11	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	製造技術者のための油圧実践技術（トラブルシュート編）	30.11.15～16	ホ°リテクセンター北海道	5名
	NC技術者のための切削加工技術（旋削編）	30.12.17～18	北海道ホ°リテクカレッジ	2名
	プライス加工の高精度加工技術	30.12.25～27	北海道ホ°リテクカレッジ	2名
	演習・実例で学ぶ実験計画法の実践	31. 1.16～18	ホ°リテクセンター北海道	4名
	切削加工の理論と実際	31. 1.28～29	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
電 気 ・ 電 子 系	PLCラダープログラミングの定石	30. 5.21～23	ホ°リテクセンター北海道	2名
	電気系保全実践技術	30. 5.29～31	ホ°リテクセンター北海道	2名
	マイコン制御システム開発技術（Wi-FiモジュールによるIoT活用編）	30. 6. 4～6	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	低圧電気設備の保守点検技術	30. 6.19～20	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	PLC制御技術（数値処理編）	30. 7.10～11	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	PLCによる自動化・省力化機器の制御技術（空気圧機器制御）	30. 7.12～13	北海道ホ°リテクカレッジ	1名
	タブレット型端末を利用した通信システム構築	30. 7.19～20	ホ°リテクセンター北海道	1名
	Excel VBAプログラミング技術	30. 8. 2～3	苫小牧市テクノセンター	5名
	PLC制御技術（ラダー回路設計編）	30. 8. 2～3	北海道ホ°リテクカレッジ	1名

電 気 ・ 電 子 系	PLC による自動化・省力化機器の制御技術	30. 8.22～23	ホ°リテクセンター北海道	1 名
	実習で学ぶ画像処理・認識技術（Python 編）	30. 8.23～24	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	P L C による自動化・省力化機器の制御技術 （モータ制御編）	30. 8.28～29	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	P L C 実践的制御技術	30. 8.30～31	ホ°リテクセンター北海道	2 名
	電気系保全実践技術（制御回路編）	30. 9.25～28	ホ°リテクセンター北海道	1 名
	低圧電気設備の保守点検技術	30.10.23～24	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	プリント基板設計技術	30.11.10・17	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	電気系保全実践技術（有接点リレーシーケンス編）	30.11.15～16	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	Linux による組込みシステム開発	30.11.20～22	ホ°リテクセンター北海道	2 名
	電気系保全実践技術（PLC 編）	30.11.29～30	北海道ホ°リテクカレッジ	2 名
	ディジタル回路設計（ロジック IC 編）	30.11.29～30	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	組込みシステムによるプログラム開発技術	30.12.11～12	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	Java による組込みのためのプログラム開発 技術(Java 習得編)	31. 1.12・19	北海道ホ°リテクカレッジ	1 名
	組込みシステム開発プロジェクトマネジメント	31. 3.12～13	北海道ホ°リテクカレッジ	2 名

（２） 技術人材研修助成事業

地域内企業の研究者や技術者が、高度技術の研究開発に取り組むため、大学・企業等における研究・研修機関で実施する研究会等に参加する場合の経費の一部を助成した。

名 称 等	実施日	実施場所	実施内容等	参加人数
"JIS 品質管理責任者セミナー 専修科コース"	30.6.20~8.24	札幌市	一般社団法人 日本規格協会主催の「JIS 品質管理責任者セミナー 専修科コース」を受講し、資格取得。	1 名

(3) 専門家派遣助成事業

中小企業等が経営革新を図る上で必要な課題の解決を図るため、専門的知識や実務経験を有する者を企業に派遣し、指導及び助言を行い、派遣に要する経費の一部を助成した。

対 象 者	指導・助言内容	助成額
(株)DieKraft	鉄鋼材料・熱処理・表面加工の技術指導等	150 千円
(株)柴楽	新商品の開発、開発商品の販路拡大に向けた事業計画策定指導	150 千円

2. 研究開発事業

(1) 新技術・新製品開発助成事業

企業等の技術開発・生産技術の促進を図るため、新技術・新製品等の開発、試作品の製造及び生産工程の合理化・高度化等に要する経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(有)日本橋	和風プリン「ちゃっぷりん」の販売に向けた冷凍耐性付与試験	480 千円
(株) ハイテックシステム	LPWA 通信システムの中継用端末の開発	1,464 千円
フोटニックスサイエンステクノロジー(株)	生産効率 5 倍を実現する SAM コネクタ加工システムの開発	1,500 千円
(株) まるは製麺所	常温流通ができる生麺の技術開発及び恵庭産えびすかぼちゃを使った麺の開発	1,373 千円

(2) 技術開発の芽育成助成事業

課題解決のための試作完了までの基礎調査、情報収集及び開発検討に要する経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(株)クワイアン	アカマツ材を活用したウクレレの新製品開発	480 千円
(有) プロセスグループ 夢民舎	「安平産菜の花」「ヒマワリ」由来凝乳酵素及び後処理方法に着目した新規チーズの試作開発	185 千円

(3) 共同研究等事業（苫小牧市補助事業）

企業等の技術力の向上や課題解決を図るため、苫小牧市テクノセンターとの共同による技術開発・製品開発を支援した。

対 象 者	実施期間	研 究 テ ー マ
(株)日邦バルブ	30.10.17 ～ 31. 3.28	ロストワックス技術を用いたステンレス製品の casting 品質向上に関する研究
マルゼン食品(株)	30.11.26 ～ 31. 3.29	ホッキ貝蓄養水槽にて使用する海水の濾過法に関する研究

3. 技術高度化事業

(1) 産業力強化支援事業

ものづくり基盤技術の高度化を図るため、技術相談・助言、技術開発及び製品化等のコーディネート活動を実施した。

名 称 等	実 施 内 容
技術コーディネーターによる企業訪問	技術コーディネーターが、圏域内の企業の経営動向を掌握し、技術相談や各種支援制度の紹介等を行った。 地域内企業訪問 156 社 延べ 225 回
技術コーディネーターによる技術指導・支援	地域企業の求めに応じ、技術指導・支援を実施した。 地域内企業訪問 1 社 延べ 1 回

(2) 苫小牧東部産業集積活性化事業（苫小牧市補助事業）

苫小牧東部地域を中心とする苫小牧ゾーンの技術高度化や技術開発の促進を図るため、企業立地との連携や交流活動を推進し、地域内企業が新分野へ進出するためのものづくり基盤整備を支援した。

a) 公設試験研究機関等との連携事業

地域企業に対して、苫小牧工業高等専門学校専攻科の研究成果と教職員の研究シーズを発表し、企業と教員、学生との交流を図り、産学共同研究の取組みを促進した。

名 称 等	実施日	実施場所	実 施 内 容	参加人数
苫小牧高専サテライト 開設記念講演会	30. 11. 1	苫小牧経済センタービル	・ 事業説明 ・ 講演 「未来の教室」と「EdTech の未来」 ・ 交流会	講演会 約 70 名 交流会 約 50 名
苫小牧高専地域連携シン ポジウム 2018	30.11.30	グランドホテルニュー王子	・ パネルディスカッション ・ 教員研究成果発表 ・ 専攻科研究発表 ・ 交流会	参加者 約 140 名

b) 産業集積事業

① 企業誘致協議会との連携

苫小牧地区企業誘致連絡協議会に参加し、苫小牧地域の企業誘致活動に取り組んだ。

名 称 等	実施日	実 施 内 容
苫小牧地区企業誘致連絡協議会	30. 4.13 他 30. 5.18 他 30. 5.16～18 30. 7.23 30. 9.11～14 30.10.25 30.11.7～10 31. 2. 6	・総会 ・理事会 ・担当者会議 企業訪問（トップ・フォロー） ・関東地区 21 社 ・中部地区 9 社 ・その他 1 社 各種フェア・セミナー ・企業立地フェア 2018（東京） ・北海道ビジネスフォーラム（東京） ・国際物流総合展 2018（東京） ・北海道ビジネスフォーラム（名古屋） ・メッセナゴヤ 2018（名古屋） ・愛知・苫小牧企業交流会（名古屋）
苫小牧地域産学官金連携	30. 7.15 30. 7. 5 他 31. 1.30 31. 3. 1 31. 3.22	総会 実行委員会 セミナー「1/1000 ミリで勝負」 セミナー「町工場の経営改革と人材確保・育成」 セミナー「放電プラズマの可能性を考える」
他団体との連携・交流	30. 6. 1 30. 5.23 30. 8. 7 他	苫小牧東部開発連絡協議会 ・総会 苫東立地企業懇話会 ・総会 ・例会

② 調査事業等

苫小牧地域の企業を対象にし、技術コーディネーターが巡回あるいは来所対応によって、技術開発に関する情報提供、助言指導等を実施した。また、各種フォーラム、セミナー等に参加し、情報収集、情報交換等を行った。

(3) 参入促進支援事業（北海道補助事業）

北海道のものづくりの基幹産業である自動車関連や食関連の雇用創出につなげていくため、自動車及び食関連企業等の生産・設備保全技術等に関するニーズ・課題の把握、改善に向けたマネジメントや製品改良、生産工程等の改善・効率化等技術力向上に資する課題把握・指導相談、講習会等を実施した。

また、地域の支援関係者が連携をとって企業を支援する組織である『ものづくり企業活性化チーム 学・官・金一道央圏』（略称GKK）により、企業ニーズや技術シーズについて月 1 回程度の情報交換を実施した。

①企業訪問等による相談件数 延べ 250 件

②雇用創出数 80 名

③講習会等の実績

技術講習会等	実施日	実施場所	受講者数
「金型技術研究会」「北のものづくり総合技術研究会」合同研究会	30. 7.13	苫小牧市テクノセンター	22名
自動車部品関連技術講習会	30.11.15	苫小牧市テクノセンター	23名

公2 地域産業活性化事業

1. 経営支援事業

(1) 経営管理支援事業

食品表示基準の一部改正に伴い、新しい原料原産地表示制度による適正な表示が求められることから、具体的な表示方法についてのセミナーを開催した。

名 称 等	実施日	実施場所	講 師 等	参加人数
経営管理セミナー 「食品表示基準の一部改正について」	31. 2. 8	千歳アルカディア・プラザ	農林水産省北海道農政事務所 消費・安全部表示・企画課 指導係長 玉井 修次 氏	30名

(2) 市場拡大等支援事業

製造業等を営む中小企業者が、国内で開催される各種展示商談会への出展を通じて、市場拡大及び販路開拓等の機会を確保するため、出展に要する経費の一部を助成した。

① ビジネスE X P O第32回北海道技術・ビジネス交流会

会 期 平成30年11月8日・9日
 会 場 アクセスサッポロ（札幌市）
 入場者数 21,200名
 出展助成 以下の9企業・団体の出展を助成した。
 苫小牧市：J X金属苫小牧ケミカル(株)、北海道曹達(株)
 苫小牧発明研究会、(株)電気工事西川組、みさち工房
 千 歳 市：(株)エルス、(株)クワイアン
 恵 庭 市：(株)岡田建具製作所
 安 平 町：北のなのはな会

② 第52回スーパーマーケット・トレードショー2019

会 期 平成31年2月13日～15日
 会 場 幕張メッセ(国際展示場9-11ホール)
 入場者数 88,412名
 出展企業 以下の9企業の出展を助成した。
 苫小牧市：(株)四季舎
 千 歳 市：岩田醸造(株)、(有)肉の山本、(有)ベリーファーム、(株)箱根牧場、
 千歳ニッソーサービス(株)
 恵 庭 市：(株)ほんま、(株)まるは製麺所
 安 平 町：(有)プロセスグループ夢民舎

2. 製品開発支援事業

(1) 製品開発助成事業

産業化への応用等の開発事業、市場化への可能性等の開発事業を行った企業等に対し、製品開発に要した経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
(株) もりもと	紙カップ供給装置導入による千歳産卵を活用した新製品の開発事業	1,000 千円

3. 地域産業活性化事業

(1) 地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワーク活動への支援

地域の活性化を図るため、地域の「人材」と「技術」を繋ぐネットワーク活動等の事業に要した経費の一部を助成した。

対 象 者	事 業 名	助成額
安平町誘致企業会	経済セミナー（北海道の明日を創る）	100 千円
苫小牧発明研究会	発明&デザイン「地域宝おこし」 自然と遊ぼう！エコ遊び！発明&デザイン地域宝おこし	100 千円

【その他事業】

他1 苫小牧市テクノセンター管理運営事業

苫小牧市からの委託を受けて、苫小牧市テクノセンターに関する利用許可申請書等の受付業務、使用料等の徴収業務、経理事務等の業務を実施した。

Ⅱ 庶務事項

1. 理事会

第1回

決議があったものとみなされた日	平成30年4月6日
審議事項	① 評議員会に提案する理事候補者について ② 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第2回

決議があったものとみなされた日	平成30年4月24日
審議事項	① 評議員会に提案する評議員候補者について ② 評議員会開催について
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第3回

開 催 日	平成30年5月8日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	11名（理事9名、監事2名）
審議事項	① 平成29年度事業報告及び収支決算について ② 定時評議員会招集の件 ③ 任期満了に伴う理事候補者の決定の件 ④ 任期満了に伴う監事候補者の決定の件
報告事項	理事長、専務理事の職務執行の状況について
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

第4回

決議があったものとみなされた日	平成30年5月25日
審議事項	① 理事長1名選定の件 ② 専務理事1名選定の件
結 果	すべての理事から同意表示があり、監事からの異議申し立ても無く、可決した。

第5回

開 催 日	平成31年3月27日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	11名（理事9名、監事2名）
審議事項	① 平成30年度第1回補正予算について ② 平成31年度事業計画及び収支予算について
報告事項	理事長、専務理事の職務執行の状況について
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。

2. 評議員会

第1回

決議があったものとみなされた日	平成30年4月23日
審議事項	① 理事選任の件
結 果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第2回

決議があったものとみなされた日	平成30年5月11日
審議事項	① 評議員選任の件
結 果	すべての評議員から同意表示があり、可決した。

第3回

開 催 日	平成30年5月25日
場 所	苫小牧市テクノセンター
出席者数	8名
審議事項	① 議事録署名人の選出について ② 平成29年度事業報告の件 ③ 平成29年度収支決算承認の件 ④ 任期満了に伴う理事選任の件 ⑤ 任期満了に伴う監事選任の件
結 果	すべての議案について、原案のとおり可決した。